

図書館だより

目次

借りた図書の延滞が与える社会的影響	——田中 功	1
第8代図書館長 佐藤進先生を偲んで	——引馬 知子	2
日本女子大学における佐藤進先生に関する文献	——田口 令子	3
日本女子大学叢書の紹介		
島田法子編著『写真花嫁・戦争花嫁のたどった道』	——島田 法子	4
上代タノ平和文庫 図書の紹介		
山川剛著『センセイ、ハタ アル?』	——中村真理子	5
探してみよう! 図書館ホームページのプチ・リニューアル	——中澤 恵子	6
平成21年度夏期スクーリング開館について	——中澤 啓子	8



セバ大学からの贈り物

借りた図書の延滞が与える社会的影響

田中 功

今年の初め「図書館の本、未返却者には卒業証書渡しません、強硬策-社会人のルール」という見出しの新聞記事が報道された。この内容は九州のある県立大学で図書館の本を返さない卒業予定者に対して卒業証書の授与を保留するというものである。いままでも未返却者の中に毎年20から30名の卒業予定者がいたという。そこで大学では卒業証書は取り消さないが証書授与の保留の方針を決めた。その結果、その年の卒業予定者に借りた本の未返却者はいなかったそうである。

延滞はどこの図書館でも悩みの種である。そのためにいろいろな罰則を設けている。日本の場合、延滞料をとるところもあるが大学図書館、公共図書館の多くは延滞した日数と同じ期間貸し出しが受けられないというペナルティが課せられる。一方アメリカでは厳しく延滞料をとる公共図書館や大学図書館が多い。たとえばニューヨーク公共図書館の場合は1日あたり25セント徴収される。大学では再三の延滞料の督促に対し無視すると次学期の履修科目登録ができなくなることもある。

延滞の督促や延滞料の徴収は非常に煩雑であり、図書館にとって時間と手間がかかる仕事である。そのため北米には利用者からの延滞料の取立てを代行とする企業があり、最近ではそのような企業に依頼する図書館が増加してきている。この企業に依頼している米国、カナダの750の公共図書館は最近1年間で総額6400万ドル(約64億円)相当の延滞料を回収したという。回収方法は延滞者に何回かの手紙や電話を試み、それでも連絡のない場合、最後の手段としてクレジットレポート会社に個人名を通知する。通知されると個人の信用に関わり家や車のローンが組めない、アパートも借りられない事態にもなる。そのため最終的には延滞料金を支払う割合が高いそうである。

図書館は延滞に対して、このような巨額な料金を取ることがもちろん目的ではない。延滞料は返却期間を守ってもらうための抑止力になるという考えから課すものである。専門の企業に依頼するのも延滞者が多く図書館では処理しきれずやむを得ない手段なのである。

今年1月大きな事故にまつわる図書館の延滞料のニュースがあった。それはUSエアウェイ機がハドソン川に不時着したという記憶に新しい事故である。時の人であった機長がこの事故でカリフォルニア州の図書館から借りた数十冊の図書を紛失し期日まで返せなくなったという記事であった。そのことを機長は図書館に連絡し延滞料を免除してもらえないか相談したという。図書館は延滞金免除をすぐに決定したと続いていたが、アメリカでの借りた図書の延滞に対する厳しさと重みをつくづく感じさせられるニュースであった。

たしかに次の予約を待つ利用者の心情を思うとこのような厳しさは当然なことかもしれない。ちなみに、すべての図書館が大切にしていることの1つに「図書館の本はすべての人にいつでも滞りなく提供する」が含まれている。

(図書館長・日本文学科教授)

第8代図書館長 佐藤進先生を偲んで

引馬 知子

佐藤進先生の日本女子大学最終講義が開かれた1992年2月4日、桜楓新館には悪天候にもかかわらず多くの人々が集まり、会場を埋め尽くした。演題は『私の学びについて - 社会法学—労働と社会保障法学—の推移と課題』で、「退職する決心と、男の美学という笑われるかもしれませんが、私には私の学者としての思いがあります」と講義を始められた。

その言葉どおり、先生の生涯は労働と社会福祉、あるいは人間の生を支える学問と実践、同分野の後進の育成に捧げられた。日本女子大学での担当科目は、労働法、社会保障法、社会福祉総論などで、その研究業績は「アメリカの会社支配組合」(『労働法』3 pp.46-84, 1953年10月刊, 有斐閣)に始まり、「「福祉」「保健」の農村・林業の町村の現状：宮城・秋田大地震の経験と今後の展望をみて」(『社会福祉』49 pp.205-209, 2009年3月刊, 日本女子大学社会福祉学科)まで膨大な量となった。最終講義のおわりには、「日本女子大学で20年6ヶ月、ほとんど本学では役職の連続でした。・・・(中略)・・・今日最後に、緊張しながらも倒れずに無事終ることができたことを本当に嬉しく思います」と気持ちを凝縮して語られた。そして先生は、たくさんの花束に囲まれて日本女子大学を後にされ、同時に図書館長も辞された。

ご退職までの2年にわたり務めた第8代図書館長の時には、『図書館だより』に毎回寄稿された。「カタイ教育・文化からヤワラカイ教育・文化へ移る時代」や、「現代学生の私語考現」、「大学の西生田一部移転に関わる図書館の展望や課題」と図書館員の方々への労いの言葉、「世界の旅からの考察」、「戦時下の青春と読書の思い出」など、先生らしいテーマが並び、思いがまとめられている。先生は、日本女子大学をこよなく愛され、立正大学・新潟青陵大学とその後にも教育・研究活動を続ける多忙のなかでも、目白や西生田に足を運んで後進の研究会などを見守ってくださった。

“世界の旅”と“戦争”は、どちらも先生の人生で大きな位置を占めていた。海を渡ると水を得た魚のようで、先生は40年以上にわたり欧州を中心に世界の国々を巡りつつ、福祉の行方を見据えられた。「どの国にいてもまず“市場(いちば)”に行くのです。人々の生活がみえてきます」と語られ、趣味の市場の写真の数も膨大となった。いつか形にしたいとお気持ちを晩年実現された写真入の旅行記が『世界のくらし・福祉・市場 - 社会保障・福祉研究者の旅日記』(2005年刊 法律文化社 非売品)。「福祉会議への出席にあわせて様々な国や地域を訪れるうち、私の関心は、いつの間にか、生きている人間の“くらし”，それと関わる“市場”，そして福祉の支えである施設と在宅のサービスへと移っていったように見える」と記されている。先生は学問に厳しく、しかし飾らない暖かな人だった。イギリス滞在の折にフィッシュ・アンド・チップスを頬張りながら歩く先生は、大学者であるはずなのに、いたずらっこのように目を光らせて楽しそうだった。

青春時代の“戦争”は先生にさまざまな影響を与えた。「いつの時代も動くものと動かないものがあります」、そのような言葉は戦争体験からきたのかもしれない。戦争中の大きな出来事のひとつは最愛の奥様との出会いである。シャイな先生が、特攻の練習をしながら奥様を見初めた大恋愛だった。晩年、先生はお忙しかった時間を取り戻すように、奥様と手をつなぎながら散歩をするのが日課だったという。先生はその生きるお姿と書物を通して、多くの人に生き方を自問させた。

「もうすぐ84歳です。年をとると流石に筆が鈍ります」と、旅立たれる少し前にいただいたお葉書に先生は記されていた。しかし先生らしく、先生が筆をおくことは最期までなかった。「これからは私が書いたさまざまな書物や文章を紐解いていってくださいね。そこで対話をしましょう」、先生がそう語りかけてくださっているように感じている。

(田園調布学園大学准教授、元本学社会福祉学科専任助手、新制42回社会福祉学科卒業生)

日本女子大学における佐藤進先生に関する文献



写真の説明

平成6年5月7日(土)桜楓2号館会議室で開催された、歴代館長(福田陸太郎, 青山吉信, 徳末愛子, 佐藤進, 石川松太郎各先生)座談会で歓談される佐藤進第8代館長。

佐藤進先生 日本女子大学における経歴

昭和46年10月 日本女子大学文学部社会福祉学科教授就任

昭和59年4月 日本女子大学文学部長
(昭和63年3月まで)

昭和59年4月 日本女子大学理事(昭和63年3月まで)

昭和63年4月 日本女子大学評議員(平成6年3月まで)

平成2年4月～平成4年3月 日本女子大学図書館長

平成4年3月 日本女子大学を退職

「日本女子大学図書館だより」 佐藤進先生寄稿文献

■書をめぐる文化雑感 No. 69 1987.6 p2 ■図書館の明日に向かって－人間社会学部西生田図書館開設, 図書館近代化への新たな歩みへ－ No. 78 1990.6 p4

■出版・読書の傾向を通じて No. 79 1990.11 p1 ■戦時下の青春と読書の思い出 No. 80 1991.3 p1 ■寡黙と饒舌－現代学生の私語考現学－ No. 81 1991.6 p1 ■世界の激変を見て日本を考える－ソ連, 西欧諸国の旅のひとこまから－ No.82 1991.11 p1 ■日本女子大学総合大学化と図書館活動の課題 No. 83 1992.3 p1 ■図書館長時代をふりかえって No. 100 1997.12 p12

「図書館の明日に向かって 佐藤進」(No. 78 1990.6)本文より抜粋

・・・2つのキャンパス, 2つの図書館は, これから建学者の理念にもとづいた現代的 Identity のもとで, 一つの方向に動くことができるよう, 近代化による, 緊密なネットワーク化を一層進めることとなります。今日高度情報化の, しかも「知」の時代を迎え, 図書館は可能な限り, 学生や教職員に均質的にして, 最新の情報提供ができるよう, まず西生田図書館をコンピュータシステム化し, その開設時の蔵書3万冊の書誌データ入力化を行いました。そしていま蔵書トータル45万冊の書誌データ入力化を実現すべく努力をしているところです。また大学間ネットワークの実現をも目指しているところです。・・・(図書館長・社会福祉学科教授)

「日本女子大学図書館だより」 佐藤進先生関係文献

■<座談会> 図書館, この30年, そして No. 90 1994.6 p3～19 *歴代館長座談会

「日本女子大学図書館友の会 会報」 佐藤進先生寄稿文献

■南米(メキシコ, ペルー)への旅のなかから No. 66 1990.11 p1～3

☆日本女子大学社会福祉学科発行「社会福祉」(第32号 1992.3 佐藤進教授退職記念号)に, 佐藤進教授略歴・著作目録が掲載されている。

(館員 田口令子)

島田法子編著

『写真花嫁・戦争花嫁のたどった道—女性移民史の発掘』(日本女子大学叢書7)

島田 法子

本書の第一の目的は女性移民史の発掘である。女性移民に関する学術論文や研究書はまだ量的にも質的にも限られている。女性たちは政治史、外交史、経済史の切り口からの研究には登場しない。本書は社会史のアプローチから、女性移民たちの生活史を掘り起こそうとしている。さらに、女性史であっても、男性の視点から取り上げられ分析された論述では、女性が客体化される傾向があったが、本書は女性の視点から女性史を解釈することもその目的としている。

女性移民の中でも、特に「花嫁」として海を渡った女性たちを取り上げるのはなぜか。それは、「写真花嫁」と「戦争花嫁」という呼称で呼ばれてきた女性たちに関しては、他の女性に関するよりも比較的多くの資料が残されていること、さらに「花嫁」とくくられることによって、より女性性が明瞭に浮かび上がってくるであろうと考えられたからである。

本書はまた、アメリカへ渡った日本人写真花嫁、戦争花嫁だけでなく、多様なケースを取り上げることによって、比較の視点を取り込み、時空的に多様な花嫁移民像を提示しようとしている。日本の研究者が写真花嫁に言及するとき、往々にしてそれはアメリカ合衆国の「呼寄せ移民時代」(1907~1924年)に写真を介して結婚・入籍し、アメリカ在住のまだ見ぬ夫の元に移住していった日本女性たちを指していた。その枠組みを広げる試みとして、今まで研究者にはあまり知られることのなかった、戦前の朝鮮半島からハワイへ渡ったコリアン写真花嫁と、戦後、南米、とくにブラジルに移住した写真花嫁を取り上げている。戦争花嫁に関しても、アメリカ本土、ハワイ、そしてオーストラリアへ渡航した日本人花嫁たちを取り上げている。

また、出移民と入移民とに二分されがちな移民研究から脱し、女性たちの祖国から移住先の国へのトランスナショナルな移動に注目し、より大きな枠組みから「花嫁」移民を見直す作業もおこなっている。

研究手法としては、女性たち自身の語りを重視している。近年、「戦争花嫁」が主体的に語るようになった結果、さまざまな人生が取り上げられるようになった。かつて日本社会から否定的にとらえられることが多く沈黙を守ってきた女性たちが、子育てを終えて退職期を迎え、自らの体験を公に語るようになったためだ。本書の戦争花嫁に関する論文も、インタビューとアンケート調査から、直接的に女性たちに接触しその語りに耳を傾けている。このような手法によって、各地の戦争花嫁に共通する実像は、強い意志を持ち、自分の運命を自分できり拓き、積極的に社会に貢献してきた自立した女性たちであることが見えてきた。

同様に、「写真花嫁」についてもオーラルヒストリー資料を活用して、女性自身の語りに注目している。北米に渡った「写真花嫁」に関しては、直接的なインタビューをするには時が遅すぎたが、過去のインタビューの記録は残されている。またコリアン写真花嫁については、幸いにインタビュー映像が残されている。南米の戦後の「花嫁移民」に関しては、ブラジル移民の記念誌等の出版物に多く収められている女性たちの座談会記録や、女性自身が残した手記等の記録を資料としている。写真一枚で見知らぬ男性のもとに嫁いでいった「写真花嫁」たちは、往々にして「運命にもてあそばされた犠牲者」あるいは「受身的な存在」として見られてきたが、彼女たちの語りの中から見えてくる実像は、やはり強い意志をもった自立した女性たちで、主体的に家族や社会に貢献してきたという共通性が見られることが提示されている。

最後になったが、本書は、2008年度日本女子大学文学部の学術交流費の支援をうけ、日本女子大学新泉山館で開催された、移民研究ワークショップ「日本の女性移民史の発掘—写真花嫁と戦争花嫁のたどった道」で発表された口頭論文に基づいて、加筆修正された論文集である。本書の出版は日本女子大学総合研究所出版助成金によって可能となったのであり、ここに深く感謝申し上げたい。

(英文学科教授)

一上代タノ平和文庫 図書の紹介一

山川 剛著『センセイ、ハタ アル?』(平和ブックレット3)

中村 真理子

「冬ソナ」ブームを皮切りに日本人の韓国への関心は高まったように思う。特に芸能界への視線は熱い。韓国スターが来日すればニュースになるし、ドラマ作品や映画も輸入されるようになった。「宮廷女官チャングムの誓い」や「ファン・ジニ」などの時代劇もウケている。芸能関係のほかは料理や化粧品。キムチや焼肉といえは韓国だし、グルメ番組の取材でもたびたび現地の料理店で肉を食べるタレントを見かけたりもする。IKKOさんが宣伝したおかげでBBクリームは日本人の肌にも浸透した。それらを求めて、また、物価が安い事から観光地としても人気がある。——というふうには、近年、日本と韓国の距離は縮まったような雰囲気だ。しかし、以前はこのような友好的な話題がのぼる事はなかったように思う。どちらかといえば、反日感情をとりあげた報道の印象が強く、韓国と日本は仲が悪いものだと思っていた。どうして日本人がそこまで嫌われているか。そもそも韓国がどういう国なのかも分からない。社会科や歴史の授業で学習した「日韓併合」の知識を照らし合わせて、そのせいかしらと思うぐらい。しかし、そこに思い至ったからといって韓国人の過激ともいえる反日の姿勢は理解できなかった。

「日韓併合」という問題を考えるとき、本書を参照すれば日本と韓国の学校における教育指導の温度差を見ることが出来る。本書は小学校教員をしていた著者の受け持ちの生徒チョン君を通して、日韓が抱える歴史上の問題に平和学習として取り組んだ、その記録を綴っている。チョン君は父親の転勤で日本に暮らす韓国人。タイトルの「センセイ、ハタ アル?」とは運動会の万国旗に韓国があるか、彼がたずねたもの。しかし、旗はなかった。この出来事をきっかけに著者は日韓関係を考え始めた。本書に掲載される韓国の教科書の翻訳は著者が学習の資料として実際に使用したもので、「日韓併合」について学ぶときに配布し、読んだ感想を生徒とその母親に求めた。生徒達の賛否分かれた感想から著者が感じた日本の学習指導への疑問はもつもの事と領ける。

テレビでは芸能・文化の報道ばかりが際立っているが、韓国を受け入れる態度としてそれでいいのだろうか。融和ムードにうっかり忘れられてしまいそうな歴史上のできごとに、現在の打ち解けた雰囲気であるからこそ目を向ける必要があるのではないか。反日感情を取り立ててばかりいた当時よりも、日本人は韓国に対して温かい視線を向けている。今ならば韓国に寄り添った見方が出来るのではないだろうか。著者が問題に取り組むきっかけとなった運動会の万国旗に韓国の旗がないという出来事は、日本で暮らし、学級に馴染むチョン君への裏切りのようである。日本人が忘れようとしている韓国人への意識を、歴史を確認して見直していくことが、今後両国が関係を続けていく上で必要になってくると思う。ふとしたことで“旗がない”というような裏切りを起してはならない。本書は日韓の歴史問題を考えていくきっかけとなる一冊である。

*所蔵：上代タノ平和文庫 請求記号375.932-Yam

(日本文学科・4年次学生)

上代タノ平和文庫は目白図書館5階にあります

上代タノ平和文庫は、本学の第六代学長上代タノ先生の寄贈図書により創設された文庫です。

「女性が、国際平和についての問題意識を明確に持ち、平和への推進力となることを願ひし」て選ばれた図書が、現在もそのご遺志を継いで図書館友の会により継続収集されています。

平成20年度には上代タノ平和文庫運営委員会が3回(7月、11月、3月)開催され、新たに90冊を購入、総冊数は7,583冊となりました。



2009年7月に選書された図書

探してみよう！ 図書館ホームページのプチ・リニューアル

Japan Women's University Library
日本女子大学図書館

開館カレンダー
目白 西生田

フロアマップ
目白 西生田

交通アクセス
キャンパスマップ
サイトマップ

日本女子大学

蔵書検索	情報検索	文献をさがす	利用案内
<p>本学の蔵書検索 OPAC OPACの使い方 利用状況照会</p> <p>所蔵新聞リスト 目白 西生田</p> <p>所蔵視聴覚資料リスト 目白 西生田</p> <p>学外の蔵書検索 NACSIS Webcat (本学の蔵書検索はOPACで行ってください) NDL-OPAC (国立国会図書館蔵書検索) その他の図書館</p>	<p>オンラインデータベース 文献情報検索 新聞記事検索 電子ジャーナル・電子図書館 事典・辞書 アーカイブ(歴史記録資料) その他</p> <p>電子ジャーナル一覧 A-Z</p> <p>お役立ちリンク</p>	<p>図書・雑誌の探し方 雑誌論文の探し方 雑誌論文をさがす 日本語 英語 資料タイプ別にさがす テーマ別にさがす</p> <p>「現代女性とキャリア連携 専攻」推薦図書リスト</p>	<p>総合案内 在学生 本学教職員 卒業生 友の会会員 f-Campus受講生 生涯学習センター受講生 学外客</p> <p>サービス時間案内 資料配置の簡易案内</p>

友の会講座・読書会ご案内
2008年度
2008年度

お知らせ [過去のお知らせ](#)

- 図書館だよりNo.135(2009.6.23発行)配布中です。2009.6.25
- 利用状況照会のサービスが増えました。 [利用状況照会](#) からいただけます。2009.5.11

図書館ホームページは2007年9月20日にリニューアルされ、2年が過ぎました。しかし、ずっと同じままではありません。実はどんどん新機能や新しいページが増えているのです！

見つけた！① 「友の会講座・読書会ご案内」の増設。

日本女子大学図書館友の会 平成21年度講座・読書会ご案内

HOME > このページ

日本女子大学図書館友の会

会長 日本女子大学学長 榎川 邦子

日本女子大学図書館友の会は、第1代学長上代々の提唱により、本学図書館の充実発展をはかり、かつ会員相互の研鑽を目的として創設されました。その活動の一環として次のような授業講座を設けております。学外の方も友の会に入会いただけます。

月例講座・読書会(平成21年度)	講師	本学名譽教授 麻原美子
「祝詞の宇宙」宇治谷由佳	火曜日 10時20分～11時40分	受講料 ¥1,800
「源氏物語」	講師 本学教授 高野勲代 全曜日 10時30分～12時	受講料 ¥1,800
「明治女性文学論」	講師 本学教授 倉田志子 外曜日 10時40分～12時10分	受講料 ¥1,800
「新約聖書」	講師 神山教士牧師 梅原彰子 月曜日 10時30分～12時	受講料 ¥1,800
「英文読書会」 Julius Caesar by W.Shakespeare	講師 本学准教授 Daniel Galimone 最終木曜日 13時30分～15時	受講料 ¥2,000

他に研修旅行も行っております。一般(本学卒業生外)の方も参加できます。

2008年4月、「日本女子大学図書館友の会の講座・読書会ご案内ページ」を追加しました(それ以前は学校法人日本女子大学のホームページに掲載)。友の会開催の講座・読書会は、本学に縁ある講師の方々から興味深いお話を聞ける貴重な機会です。まだこのページをご覧になっていない方は是非一度、開いてみてください。

見つけた！② 「利用案内」の項目に「サービス時間案内」が増えている。

2008年12月、利用者の要望に応え、「サービス時間案内」を追加しました。通常開館、夏休み開館、目白祭・日女祭準備等期間の開館、冬休み開館、春休み開館の合計5ページで構成され、各期間における図書館サービスの利用時間が掲載されています。

サービス時間案内

HOME > このページ

開館日、開館時間については、開館カレンダー(目白、西生田)からご確認ください。

サービス時間については変更が生じる場合もあります。あらかじめ、ご承知おください。

◇通常開館 夏休み開館 目白祭・日女祭準備等期間の開館 冬休み開館 春休み開館

目白 開館時間:月～金 9:00～20:00 ± 9:00～17:00 1階、5階開室時間:月～金 9:10～18:50 ± 9:10～16:50
8:30に開館する日は、②のサービスは8:30から利用できます。

サービス内容	利用時間
図書・貸出、予約(2階カウンター受付) ②	月～金 8:00～19:45 土 9:00～16:45
雑誌:教職員貸出、大学院生一時貸出(和雑誌:1階カウンター受付、洋雑誌:5階カウンター受付)	9:10～18:45 9:10～16:45
図書(2階カウンター受付) ②	9:00～19:45 9:00～16:45
西生田図書館所蔵資料の取り寄せ申し込み	9:10～18:45 9:10～16:45
雑誌(1階カウンター受付)	10:00～18:30 10:00～11:50
参考系質問受付	2階(モノクロ10円) ② 9:00～19:45 9:00～16:45
複写	1階(モノクロ10円)、5階(モノクロ10円、カラー50円) 9:10～18:45 9:10～16:45
	2階カウンター受付(モノクロ10円) ② 9:00～18:45 9:00～16:45

見つけた！③ 「文献をさがす」の項目に「現代女性とキャリア連携専攻推薦図書リスト」が増えている。

2008年4月、現代女性とキャリア連携専攻委員会の先生方が推薦された図書リストを掲載するページを追加しました。リスト掲載の図書は、図書館に所蔵しています。ぜひご利用ください。

「現代女性とキャリア連携専攻」推薦図書リスト

HOME > このページ

現代女性とキャリア連携専攻委員会の先生方が推薦された図書のリストです。現代女性とキャリア連携専攻（自由キャンパス学部共通科目）は、現代社会に生きる女性の生き方、働き方について考え、先人に学び、幅広い知識・思考力・実践する力を身につけることをめざし、現代女性が大学を卒業して職業につき、結婚や子育て、介護や高齢者、多様なライフコースをたどることを理解し、いかに有意とした人生を設計することを応援します。リスト掲載の図書は、図書館に所蔵しています。ぜひご利用ください。

2008年度リスト



「現代女性とキャリア連携専攻」
2008年度 推薦図書リスト



①書名：おとぎ話における母
著者：S. ビルクホイザー＝オエリ 著 氏原寛訳
発行：人文書院、1985年
所蔵：図書館目録、図書館西生田 請求記号：388-Bir
百々佐千子先生（児童文学）の推薦のことば：ユング心理学の研究者による、「心的内的なドラマ」であるおとぎ話の解釈。女性性や女性の認知について、自らうけた心理分析の経験をいかに語る文明批評として読むことができる。

②書名：胎内で成人期は始まっている
＝母親の正しい食生活が子どもを未来の病気から守る
著者：デイヴィッド・バーカー 著 福岡 秀典監修・解説 藤井留賀訳
発行：ソニー・マガジンス、2005年
所蔵：図書館目録、請求記号：494.709.2

見つけた！④ 「蔵書検索」の項目に「利用状況照会」が増えている。

2008年10月、利用者の要望に応え、図書館2階カウンターでパスワードの発行を受ければ、「利用状況照会」のページから、借りている本や予約している本を確認することができるようになりました（詳細は図書館だより No. 133 参照）。

さらに今年5月、貸出延長、予約登録機能も加わり、ますます便利になりました（詳細は図書館だより No. 135 参照）。パスワード発行がまだの方は、ぜひお申し出ください。

利用状況照会

HOME > このページ

利用状況照会

- 1. 可能なサービスについて
- 2. パスワードについて
- 3. 貸出延長の方法
- 4. 予約登録の方法
- 5. 予約延長について
- 6. 予約延長の予約延長の方法
- 7. 予約延長の方法
- 8. 利用状況照会について

1. 可能なサービスについて

○ご自分の現在の利用状況の照会
(貸出中図書、予約図書、延滞罰則中の場合のみ延滞罰則情報等)

○貸出延長

○図書予約

○予約延長の予約延長

利用状況照会 << 個人情報の確認 >>

ご自分の利用状況を確認したら、個人情報保護のため、必ず「ウィンドウを閉じる(ログオフ)」ボタン、または右上の×をクリックして、表示を消去してください！！

入力欄をクリックして図書館利用カード番号と、あなたのパスワードを入力し、送信ボタンをクリックして下さい。大文字、小文字は区別しません。

利用カード番号 :

パスワード :

送信 [クリア] [ウィンドウを閉じる(ログオフ)]

★利用状況照会には、利用カード番号と 図書館用パスワードが必要です。
★何も操作をしないうちに、10分で自動的にログオフします。
★パスワードの発行、再発行につきましては図書館カウンターまでお問い合わせください。

⑤はどこにあるの？→⑤は図書館ホームページおすべての中に！

①～④でご紹介した部分は、大きく目立つ追加点です。でも、「情報検索」「文献をさがす」をはじめ、今回触れなかった他の部分についても、各ページ内に多様な修正を加えており、リニューアル当初とはかなり違っています。たとえば、「〇年の△新聞はどこにありますか？」との質問をよく受けますが、「蔵書検索」項目の中央に「所蔵新聞リスト」が掲載されており、主要日刊紙であれば所蔵状況を一覧することができます。駆け足でのご紹介になってしまいましたが、このように少しずつ、でも確実に成長を続けていく図書館ホームページの変化とその便利さに気づいていただき、より一層のご活用を願っております。

(館員・閲覧係 中澤恵子)

学習院大学図書館と日本女子大学図書館との相互利用協定について

日本女子大学図書館は、学習院大学図書館と相互利用協定を締結しました(2009年11月1日施行)。日本女子大学の学生・教職員は、本学発行の学生証または教職員証を提示することにより、学習院大学図書館を利用することができます。詳細は、図書館ホームページをご覧ください。

平成21年度夏期スクーリング開館について

今年の夏期スクーリング開館は8月3日(月)から29日(土)までの24日間にわたり行われました。

近年は、図書館内で、調べ学習等の実習を行う科目が増えていますが、「スクーリング中は授業を受けてテキストをこなすだけで図書館に来る余裕がない」という言葉もよく伺います。通信生の方は、ご来校の機会をつくるのが簡単ではないと思いますが、予習かたがた、スクーリング開始前の通常期に来館され、通常期の利用カードの発行手続きをしていただきますと1ヶ月の圖書の貸出ができます。7月1日からは夏休み貸出を行っており、通信教育図書以外でしたら、9月中旬まで貸し出すことができます。履修便覧に掲載されている参考文献なども、目を通してから、授業に臨むとまた理解度も増すのではないのでしょうか。



スクーリング登録風景

この数年、図書館の登録者数は減少しています。しかしながら圖書の延滞者の数は増加しています。スクーリング生だけが原因とは限りませんが、図書への書き込み、汚損なども少なくはありません。自分が利用し終わったから後はどうでもよいというのではなく、図書館資料は後輩を含め学生の共有財産という認識を強く持ってください。貸出期間を一つの目安に図書をご利用いただき計画的学習を進めてくださるようお願いいたします。

今年度初めての試みとして、平日だけでなく、土曜日午後参考デスクを開き資料の探し方などについて質問を受け付けました(8/8, 8/22, 8/29の土曜日)。

昨夏、ロッカー室に飲み物を飲める休憩スペースを設けましたが、今年8月9日夜からの大雨によるロッカー室への漏水により、8月10日以降スクーリング中ずっと使用できない状態となりました。水分補給の必要のある時期でもあり、建物外に出る時間が惜しいスクーリング生に是非利用していただきたかったのに残念でした。9月には修繕が終了して元どおり利用できる状態となっています。(館員・閲覧係 中澤啓子)

夏期スクーリング開館の利用状況

年度	21	20	19
開館日数	24	24	24
入館者数	5,459	5,537	6,081
1日平均	228	231	254
最高	305	409	642
最低	173	132	171
受講者数	1,435	1,542	1,734
登録者数	570	695	711
1日平均	24	29	30
貸出冊数	1,895	2,355	2,594
1人当たり	4	4	4
1日平均	79	99	109
最高	145	209	190
最低	50	50	58
貸出日数	24	24	24
複写枚数	18,999	20,764	25,336
1日平均	792	866	1,056
一般学生・教職員 その他の貸出	1,651	1,299	1,524
1日平均	69	55	64

参考係利用状況(質問処理件数)

年度(日数)	21(21)	20(17)	19(15)
一般学生・教職員	55	35	49
スクーリング生・ その他	46	35	41
合計	101	70	90
1日平均	4.8	4.2	4.5

前号(No.135) p.8掲載の2008年度実施した利用者向け講習会(資料の探し方講習会<目白>)について開催回数の記載が抜けていました。回数を補記します。資料の探し方講習会<目白>14回19名参加

編集後記 今号作成中に学習院大学図書館との相互利用協定調印の日を迎えた。次号に記事を掲載予定である。巻頭写真は、今年3月セバ大学より後藤前学長へ友好記念として贈られたラクダの置物、目白図書館玄関ホールに展示している。10月より編集委員に田島明子館員を増強して出発する。(中曽根)
平成21年度図書館だより編集委員：大沼真美、鈴木学、田島明子、中澤恵子、中曽根緑